

## 第5期（2021年度）事業計画書

（2021年8月1日から2022年7月31日まで）

定款第4条に定める事業の充実を図り、財団の管理運営を遺漏なく行い、本財団に対する関係各者の一層の理解を深めるため次のとおり各事業を実施する。

### 1. 生物学及び周辺分野における基礎研究の助成事業 【 予算 61,310 千円 】

#### 基礎科学（一般）及び基礎科学（酵母）研究の助成

世界に先駆けて生物学及び周辺の新分野を拓き得る先見性・独創性に優れた基礎研究、国や公的機関による助成がなされにくい基礎研究、及び任期切れ・定年等により継続が困難となる基礎研究に対して、基礎科学（一般）として総額 48,000 千円の研究助成を行う。

また、日本における酵母研究は国際的にも高く評価されてきたが、研究の拠点が急速に、かつ全国規模で失われつつあり、酵母研究の底上げの必要性が極めて高い現状に鑑み、酵母の生理現象を対象とした基礎生物学的研究に対して、基礎科学（酵母）として総額 12,000 千円の研究助成を行う。

研究助成の選考審査費用として 1,200 千円、通信費等の諸経費として 110 千円、計 61,310 千円を計上する。

[ 予算 61,310 千円 ]

### 2. 研究者と社会との新たな連携を構築する事業 【 予算 18,765 千円 】

#### (1) 創発セミナー（企業経営者・研究者、大学等研究者との勉強会・交流会）

基礎科学の先端的研究者と企業の第一線の研究開発者が一堂に会し議論する中で気づきを得ることを目指し、年9回開催する（下表参照）。状況によりオンライン開催も考慮し、柔軟に対応する。セミナー参加費は 3,000 円（招待者を除く）、オンラインセミナー及び感謝の集いは参加無料とし、交流会参加者には 3,000 円の実費負担を求める。

回	時期	内容
1	2021/10	アドバイザー会議：財団のアドバイザーと財団の研究者等で、財団の活動及び大学と企業のより有効な関係構築等について議論を行う。
2	2021/11	酵母コンソーシアム：酵母を材料とする一般生物学研究
3	2021/12	セミナー*及び研究助成贈呈式
4	2022/2	セミナー*
5	2022/3	アドバイザー会議
6	2022/4	セミナー*
7	2022/5	酵母コンソーシアム
8	2022/6	セミナー*
9	2022/7	感謝の集い：本財団の支援者を対象として財団の活動報告及び講演会を行う。

\*セミナーのテーマは、植物、進化、昆虫等の話題から決定する。

講師謝金、旅費交通費、セミナー会場費、会議費、通信費等として、6,245 千円を計上する。

[ 予算 6,245 千円 ]

(2) 市民講座の開催（市民及び学生を対象とした基礎科学の普及啓発活動）

市民及び学生に基礎科学の面白さや大切さを理解してもらい、科学の振興を支援する文化の醸成及び地域社会への貢献に資するため、年1回、市民講座を開催する。今期は8月にウェビナーにて開催する。講師謝金、旅費交通費、会場費、通信費等として、595千円を計上する。

[予算 595 千円]

(3) 小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集いの開催

次世代を担う小中高生に将来基礎研究者として活躍して欲しいという願いを込めて「小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」を開催する。9月11日（土）大阪府高槻市よりオンラインにて開催、及び9月12日（日）神戸市において開催する。2022年3月開催も検討する。会場開催では、第一線の研究者による講演のほか、実際に実験や観察を体験できる科学体験ブースを設ける。講師謝金、体験ブースに協力する学生アルバイト謝金、旅費交通費、通信費等として、605千円を計上する。

[予算 605 千円]

(4) 微生物機能探究コンソーシアム（略称、微生物コンソーシアム）

アカデミアと企業が協力して微生物学の振興をはかることを目的として活動する。アカデミア及び企業からの委員で構成される運営委員会において、活動計画・予算、及び活動報告・決算報告の審議・承認を行うとともに運営方針についても審議し、直近の理事会に上申する。活動の中心となるバーチャル研究所では、研究テーマごとのグループで月次の定例会をオンライン開催して基礎研究者と企業からの参加者が議論を進め、グループごとの定例会の成果を共有し相互触発を行う場として全体会を年3回開催する。コンソーシアム参加企業からの個別相談について、コンソーシアム内で対応可能な範囲で対応する。講師謝金、旅費交通費、会場費、会議費等として1,800千円、研究委託費として8,900千円、計10,700千円を計上する。

[予算 10,700 千円]

(5) 企業の課題解決に向けた相談対応

企業から課題に関する相談があった場合に助言、研究者の紹介等を行う。収益事業として実施する。年間1件を見込み、協力研究者への謝金、旅費交通費、法人税等として、620千円を計上する。

[予算 620 千円]

(6) 基礎科学の普及のための書籍、教科書等の発行

書籍発行に向けた企画、資料の収集等、準備を行う。今期の予算計上はなし。

[予算 0 千円]

3. 事業推進【予算 12,795 千円】

前記1及び2の事業を適切に運営するための事業推進費を設け推進する。

前年度に引き続き、財団の事業紹介や情報開示を積極的に行い、寄付金や会員募集に努める。

4. 管理業務【予算 14,065 千円】

財団運営に係わる管理業務については、理事会、監事監査、評議員会を開催するとともに、行政庁への届出等対応業務やその他の諸業務を適切に行う。

以上